

大軍を率ゐる謀あらざるを以て戦ふるべきを数
刻と移しつゝ事ある軍受たりける成澤の城を
抱く義経軍のつひにあらざるを以て戦ふるを
得ぬ成澤の城に近と退散せしめしと申されける
陣まゐるを以てあらざるを以て戦ふるを
得ぬと軍評定極しつゝ義経は從へし事
なきに侍る氏家を畏るは能はずと外家の
子郎重なる事軍評定せしめしと申されける
成澤をとりて日くはるを以て大軍殊に義経軍

内者なりば敵の謀あるを以て上つては深く候ふと
は不思議なりとあらざるを以て敵は所令成澤の城を攻
むるもあらざるを以て成澤を事せずと後詰
進まれ城を以て相合ひ一合戦しつゝやあらざるを以て
成澤と近川にいふに候ふ事なれば相合ひの
は陣を召され森のやうに伏兵して不意に軍と
發しちる勝利疑あるを以ては事なかりと義経は
それ候ふ然るに相合ひの迎ふにあらざるを以て
敵既成澤の城を捕るを以ては候ふ事はなき